



撮影場所：嵐山町 野鳥の森自然観察

も く じ

○新事務局長あいさつ	2	○ことばの基礎知識	9
○平成 21 年度国立女性教育会館事業計画	3	・社会活動キャリア	9
○事業の予告・募集		○調査研究・事業報告・資料の作成	10
・NWECC フォーラム 2009	4	・国立女性教育会館研究ジャーナル第 13 号刊行	10
・女子中高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～	4	・男女共同参画統計データブック 2009	10
・女性のキャリア形成支援推進研修	4	○情報ネットワーク	
・女性のエンパワーメント国際フォーラム	5	・文献情報データベースリニューアル・新着資料アラート	
・配偶者からの暴力被害者支援セミナー	5	サービスの開始	10
・らんざん交流ウィーク	5	○女性アーカイブ	
○事業の実施報告		・平成 21 年度所蔵展示	11
・NWECC プログラム「嵐山のすてきな春見つけ隊」	6	○ボランティアコーナー	11
・国別研修ナイジェリア	6	○お知らせ	
・家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー	7	・展示コーナー	11
・女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修	7	・ダイヤルイン化について	12
○NWECC レポート		・利用案内	12
・「実践・活動に結びつく学習(アクション・ラーニング)」プログラムの開発	8	・寄附金受け入れの報告・お願い	12
○トピックス		○話題になりました	12
・中国延辺大学女性研究センターと交流・協力協定締結	9		



— 着実な機能向上を目指して —

独立行政法人国立女性教育会館 事務局長 久保 真季

4月から事務局長となりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は、昭和57年に文部省に就職して以来、教育、科学、文化、スポーツ、広報等、様々な行政を担当してまいりました。男女共同参画に関しては、2度（文部省婦人教育課婦人教育係長、内閣府男女共同参画局男女共同参画推進課長）たずさわる機会をいただきました。

しかし、日本における男女共同参画推進の必要性を痛感したのは、平成14年から約1年間、National Science Foundation（NSF）という、大学等へ研究資金を配分するアメリカ合衆国の連邦政府機関、日本で言えば科学研究費補助金を担当する日本学術振興会のような組織に出向したときであったかと思います。NSFは、職員約1300人の大組織で、理系の研究経歴を有する職員が多いのですが、当時、長官が女性、7人の局長中3人が女性という布陣でした。本省課長以上の国家公務員中、女性の比率は2%未満という国から来た者にとっては、まさに驚きで、ジェンダー・エンパワーメント指数15位の国と54位の国の違いを見せつけられた感がありました。ここまで多くの女性の参画が進んでいるNSFですが、「研究者全体の女性比率34%ではまだ不十分、女性比率が低い研究分野もある」との認識の下、女性研究者支援のための事業を継続しています。

男女共同参画社会基本法施行から10年、女子差別撤廃条約が国連で採択されて30年経ち、日本の男女共同参画も進んでおりますが、国際的視点からは進展が遅いと見ざるを得ず、なお一層の推進が必要です。

当会館も、女性教育のナショナルセンターとしての機能向上に努めてまいりますが、そのためには、施設の充実も不可欠です。本年の補正予算では、18億6千万円の施設整備費が計上されました。冷暖房設備、防災設備、照明装置、LAN等の更新のための経費です。昭和52年の開館以来、初めての本格的な改修になりますが、夏の研修棟の暑さ、冬の廊下の寒さ、宿泊棟でインターネットが使えない等、皆様にご不便をおかけしておりましたものを少しでも解消し、エネルギー効率が高く環境にやさしい施設にする計画です。

女性アーカイブセンター所蔵の、当会館創設時の資料を紐解くと、女性団体・グループの方々の熱い想いを支えられて開館に至った経緯がよくわかります。当会館は、これからも皆様の活動の拠り所となるよう、事業の充実を図って参ります。改修工事についても逐次お知らせしてまいりますが、お気づきの点などありましたらお知らせください。皆様のご利用をお待ちしております。

■男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
女性のキャリア形成支援推進研修	女性関連施設・社会教育施設等の職員、団体・グループ・NPO法人等のメンバー、大学等のキャリア教育担当教職員等 60名	平成21年 10月7日(水) ～9日(金) 2泊3日	社会が急速に変化を遂げる中において、女性のライフスタイルやその置かれている状況が多様化・複雑化していることに対応した支援の在り方を含め、女性関連施設等が実施する女性キャリア形成支援に資するように、これまでの調査研究の成果を活用し、女性のキャリア形成支援を内容とする専門的・実践的研修を行う。
男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWEFCフォーラム)	女性団体等のリーダー、研究者、男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員等 600名	平成21年 8月28日(金) ～30日(日) 2泊3日	女性の多様なキャリア形成支援、次世代育成支援、ワーク・ライフ・バランス等喫緊の課題の解決に資するため、実践と研究に基づく相互交流を促進し、幅広い年齢層の参加を得て、新たな人材の発掘・確保・育成の機会となるよう、ネットワークづくりを支援する。
女子中高生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～ (科学技術振興機構委託事業)	科学・技術分野に興味・関心がある女子中学3年生・女子高校生、保護者・教員等 100名 保護者・教員 50名	平成21年 8月13日(木) ～15日(土) 2泊3日	科学者・技術者、理工系大学生との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術の分野に自分の新しい可能性を見出すことをねらいとして、合宿形式の体験型サイエンスプログラムを実施する。あわせて、保護者、教員等向けプログラムも実施する。
配偶者からの暴力被害者支援セミナー (内閣府委嘱事業)	<p>【基礎セミナー】 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、相談員等として経験年数が3年未満の者 各回50名</p> <p>【応用セミナー】 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、相談員等として経験年数が3年以上の者 50名</p> <p>【管理職セミナー】 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、配偶者からの暴力に関する相談事業を統括する立場の者 50名</p>	<p>地域開催 平成21年 大阪府 8月26日(火) 27日(水) 岩手県 11月9日(月) 10日(火) 京都府 11月19日(木) 20日(金) 1泊2日</p> <p>平成21年 12月3日(木) ～4日(金) 1泊2日</p> <p>平成22年 1月28日(木) ～29日(金) 1泊2日</p>	<p>配偶者からの暴力の相談業務に応じる全国の地方公共団体の相談担当者等を対象に、相談事案の手続き等が円滑かつ迅速に対応できるようにするとともに、相談業務の質の向上を図ることを目的として以下のセミナーを行う。</p> <p>【基礎セミナー】 相談担当者として必要な基礎知識と技術を習得するため、基礎的・実践的なセミナーを行う。</p> <p>【応用セミナー】 高度な知識と相談技術を習得するため、専門的・実践的なセミナーを行う。</p> <p>【管理職セミナー】 管理者として必要な知識と技術の向上を図るためのセミナーを行う。</p>

■男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
女性のエンパワーメント国際フォーラム	男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員、女性団体等のリーダー、研究者、国際交流・開発援助に関わる者、企業関係者等 40名程度	平成21年 10月31日(土)	女性の人権、女性の能力開発・人材育成等地球規模の課題をテーマに海外の専門家を招へいし、アジア太平洋地域の課題分析を行い、海外の研究者や行政関係者・女性団体等指導者との交流を深めるとともに、ネットワークづくりを進める。

事業予告・募集

NWEC フォーラム 2009 「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり ～学ぶ・つながる・広がる・変わる～」

NWEC フォーラム 2009 を開催します。男女共同参画社会の形成を目指し、全国からの参加者と共に学び、交流しませんか。

○期 日 平成 21 年 8 月 28 日 (金) ～ 30 日 (日)

○会 場 国立女性教育会館

○主な内容

(1) 基調講演「男女共同参画社会基本法施行から 10 年」(仮)

講師：文部科学省生涯学習政策局長 板東 久美子氏

(2) リレートーク「未来へのメッセージ～私が変われば社会も変わる～」

講師：NPO 法人わははネット理事長 中橋 恵美子氏

中央大学文学部教授 山田 昌弘氏

(株) キューピタス取締役 横井 千香子氏

(3) アンバーサリートーク「女子差別撤廃条約国連採択から 30 年」

講師：元女性差別撤廃委員会委員 赤松 良子氏

衆議院議員 森山 眞弓氏

国際女性の会協会会長 山下 泰子氏

コーディネーター：実践女子大学教授 鹿嶋 敬氏

(4) テーマワークショップ (約 60 団体)

*「第 2 次男女共同参画基本計画」示されている施策を参考に設定した 5 つのテーマにそって、全国から募集した団体、文部科学省、内閣府、会館が、ワークショップを実施します。

①女性のキャリア形成への取組、②ワーク・ライフ・バランス、③安全・安心と男女共同参画、

④地域の活性化と男女共同参画、⑤男女共同参画の拠点作り

(5) 会館ボランティア運営による情報交換と交流の場

詳細は、事業課 (TEL 0493-62-6724・6725) までお問い合わせいただくか、

会館ホームページ：<http://www.nwec.jp/> をご覧下さい。

女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～

国立女性教育会館では、科学技術振興機構からの委託により、「女子中高生の夏の学校 2009～科学・技術者のたまごたちへ～」を実施します。

ねらいは、科学者・技術者との交流を通して、女子中高生が科学・技術分野に自分の新しい可能性を見出すことです。女子中高生の夏の学校を経験した大学生・大学院生たちが、女子中高生の少人数単位の班に TA として入り、親密に交流することで、理系進路選択の魅力と楽しさを伝えます。また、保護者・教員向けのプログラムも別に設定し、身近な支援者としての理系進路支援について理解を進めます。

○期 日 平成 21 年 8 月 13 日 (木) ～ 15 日 (土)

○会 場 国立女性教育会館

○対象者 科学・技術の分野に興味・関心のある女子中学 3 年生・女子高校生 100 名 保護者、教員等 50 名

詳細は、<http://www.nwec.jp/> または、<http://www.natsugaku.com> をご覧いただくか、

事業課 (TEL 0493-62-6724) までお問い合わせ下さい。

女性のキャリア形成支援推進研修

国立女性教育会館では、社会が急速に変化を遂げる中において、女性のライフスタイルやその置かれている状況が多様化・複雑化していることに対応した支援の在り方を含め、女性関連施設等が実施する女性キャリア形成支援に資するように、これまでの調査研究の成果を活用し、女性のキャリア形成支援を内容とする専門的・実践的研修を行います。

○期 日 平成 21 年 10 月 7 日 (水) ～ 9 日 (金) 2 泊 3 日

○会 場 国立女性教育会館：埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728

○対象者 女性関連施設・社会教育施設等の職員、団体・グループ・NPO 法人等のメンバー、
大学等のキャリア教育担当教職員 等 60 名程度

詳細は、会館ホームページ <http://www.nwec.jp/> をご覧いただくか、事業課までお問い合わせください。

(TEL 0493-62-6724・6725 E メール progdiv@nwec.jp)

事業予告・募集

女性のエンパワーメント国際フォーラム 平成21年10月31日(土)

女性の人権、能力開発・人材育成等地球規模の課題をテーマに海外から専門家を招へいして行う「女性のエンパワーメント国際フォーラム」の参加者を募集します。本フォーラムでは、アジア太平洋地域の課題分析を行い、海外の研究者や行政関係者・女性団体・NGOの指導者との交流を深めるとともに、ネットワークづくりを進めます。今年度は、女性に対する暴力の撲滅について、国内外の最新の動向についての報告をうけて、解決に向けた有効な方策についての議論を深めます。

◇女性のエンパワーメント国際フォーラム

- 期 日 平成21年10月31日(土) 午後1時から午後4時30分(予定)
- 会 場 独立行政法人 国際協力機構 JICA 研究所 (東京都新宿区市谷本村町10-5)
最寄り駅: JR 中央線・総武線・都営地下鉄新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」
- 対 象 男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者・女性関連施設職員・女性団体等のリーダー・研究者・国際交流・開発援助に係わる者・企業関係者等
- 募集定員 40名程度 ○使用言語 日本語・英語(通訳付)
- 申込方法 平成21年8月半ば以降、会館ホームページから必要書類をダウンロードしてお申込ください。
<http://www.nwec.jp/>
詳細は、研究国際室(TEL 0493-62-6479 Eメール rese2@nwec.jp)までお問い合わせください。

配偶者からの暴力被害者支援セミナー

国立女性教育会館では、内閣府男女共同参画局からの委嘱により、全国の地方公共団体等の相談担当者を対象とし、相談事業の手続き等を円滑かつ迅速に対応できるようにするとともに、相談業務の質の向上を図ることを目的として、「配偶者からの暴力被害者支援セミナー」を開催します。

- ◇基礎セミナー ○期日・開催地 平成21年8月26日(水)・27日(木)
(全国3箇所において開催) 大阪府: 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
平成21年11月9日(月)・10日(火) 岩手県: 岩手県民情報交流センター
平成21年11月19日(木)・20日(金) 京都府: 京都テルサ
- 対象者 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、配偶者からの暴力に関する相談員等として経験年数が3年未満の者 各回50名程度
- ◇応用セミナー ○期 日 平成21年12月3日(木)・4日(金) 1泊2日
○会 場 国立女性教育会館: 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
○対象者 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、配偶者からの暴力に関する相談員等としての経験年数が3年以上の者 50名程度
- ◇管理職セミナー ○期 日 平成22年1月28日(木)・29日(金) 1泊2日
○会 場 独立行政法人国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町菅谷728)
○対象者 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センターにおいて配偶者からの暴力に関する相談事業を統括する立場の者等 50名程度
詳細は、会館ホームページ <http://www.nwec.jp/> をご覧いただくか、事業課までお問い合わせください。(TEL 0493-62-6724・6725 Eメール progdiv@nwec.jp)

らんざん交流ウィーク(NWEC 男女共同参画交流特別週間)

国立女性教育会館(NWEC)では、らんざん交流ウィークを設けます。

期間中、参加団体・グループの自由交流、NWEC提供の講義や見学など、好きなプログラムへご参加ください。ご参加いただいた団体・グループにつきましては、研修室が無料、宿泊は1泊お一人様1,000円でご利用いただけます。

○期 日 平成21年11月17日(火)～20日(金)

○内 容

- ①自由交流: 参加団体・グループ同士自由に交流していただきます。(期間中19:00～21:00に実施)。
- ②講演: 第一線で活躍する女性が自分自身のキャリアについて語ります(90分程度)。
- ③講義: 国立女性教育会館職員による講義(90分程度)。
(例)・「歴史に学ぶ、明日の生き方 ～女性アーカイブから見えてくるもの～」
・「男女共同参画データブックからみえてくる日本の男女共同参画の現状」
・「女性と人権」
- ④情報システム研修: 国立女性教育会館がもつさまざまなデータベース等に関する説明を行います(60分程度)。
- ⑤NWECのご案内: 国立女性教育会館の施設や事業の概要についてご説明します(30分程度)。
- ⑥女性教育情報センター・女性アーカイブセンター見学:(30分程度)
- ⑦施設見学: 国立女性教育会館ボランティアがご案内します(60分程度)。
- ⑧文化プログラム: 国立女性教育会館ボランティアによる呈茶・楽器演奏等。
詳細は事業課までお問い合わせ下さい。(TEL 0493-62-6725)

事業の実施報告

ヌエック NWEC プログラム 「嵐山のすてきな春見つけ隊」 星空観測会とミニハイキングで体験する武蔵嵐山の春

平成21年4月3日(金)～4日(木)

平成21年4月3日(金)～4月4日(土)で、平成21年度NWECプログラム「嵐山のすてきな春見つけ隊—星空観測会とミニハイキングで体験する武蔵嵐山の春—」を実施しました。春休みの期間中に、親子で会館周辺の嵐山町の自然に触れ、様々な自然体験をすることで、楽しく学びながら、親子や参加者同士の関係を深めるプログラムとしました。8組18名の皆様にご参加をいただき、楽しい2日間を過ごしました。

1日目は、まず仲間をつくる体験活動を行い、緊張をほぐしました。続いて2009年が「世界天文年」であることにちなみ、親子で簡単なキットを用いて望遠鏡を作りました。夜には星空観測会を行い、参加者が自分たちで作った望遠鏡で月や土星を観察しました。

2日目は、「嵐山の春を見つけよう」というテーマでミニハイキングと自然観察をおこないました。

地元嵐山町のNPO法人自然の会・オオムラサキ代表理事関根浩史氏、千島喜三氏、佐藤治氏の3名を講師にお迎えし、菅谷館跡(源平合戦の武将畠山重忠の居城)周辺の里山の自然や桜並木の美しい都幾川の河原、オオムラサキの森など、嵐山町内の歴史と春の自然を案内していただきました。

参加者からは「本当に出来上がるのか不安だった。望遠鏡が完成し、それで月を観た時は感動しました」といったご意見が寄せられました。



▲ みんなで望遠鏡づくり



▲ ミニハイキングと自然観察

国別研修ナイジェリア

女性センター職員のためのジェンダー 平等なコミュニティ開発計画 (JICA 委託事業)

平成21年5月6日(水)～5月28日(木)



▲ 会館職員(下中央:理事長)とナイジェリア国研修生



▲ 埼玉県産の小麦で行ったまんじゅう作りの実習

平成21年5月6日(水)～5月28日(木)まで、国別研修ナイジェリア(女性センター職員のためのジェンダー平等なコミュニティ計画)を実施しました。この研修は、ナイジェリアにある地方の女性開発センターが、資金や人材の不足等により十分な機能を果たすことが困難だったため国際協力機構(JICA)が開始した「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」の日本での研修を企画・実施したものです。今年度はカノ州から女性開発センター校長1名、センターを指導する女性開発オフィサー5名、計6名が来日しました。プロジェクト開始当初、研修生は、職務上の限界として「ものがない」、「お金がない」、「人がいない」を挙げるものが多くありました。

研修では、会館のほか埼玉県男女共同参画推進センター、愛知県女性総合センター、名古屋市男女平等参画推進センターを視察し、日本の女性センターの機能と役割について学びました。また、埼玉県内で農業女性の起業活動や普及指導員の役割について学んだほか、ナイジェリアに持ち帰れる技術として小麦を使った食品加工と藍染を学びました。

研修終了時には、足りないものはものやお金ではなく、実行に移す実践力と気づき、最終日に行ったナイジェリアとのTV会議で、それぞれが学んだ成果を発表し、研修をしめくりました。

事業の実施報告

家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー

平成 21 年 5 月 29 日 (金) ～ 30 日 (土)



▲ グループ討議の様子

国立女性教育会館では、平成 21 年 5 月 29 日 (金) ～ 30 日 (土) の 1 泊 2 日で、「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」を実施しました。

当日は、北は青森県、南は熊本県より約 100 名の参加をいただきました。

家庭教育・次世代育成に関する支援の取組として、社会全体で家庭・親等を支援する必要性がいわれており、男性の参画は大きな課題として挙げられています。

今年度は、「男性の子育て参画」を中心課題として取り上げ、男性を含めた社会全体・地域ぐるみの次世代育成支援のあり方について事例研究を行う等、支援の方策について検討しました。

家庭教育・次世代育成支援関係行政担当者、子育てネットワーク・サポーター等のリーダー、企業の次世代育成支援担当者、社会貢献活動担当者、女性関連施設職員・社会教育施設職員等、様々な立場の方々が一堂に会し、情報交換・交流を深める貴重な機会となりました。

女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修

平成 21 年 6 月 18 日 (木)～20 日 (土)

平成 21 年 6 月 18 日 (木)～20 日 (土) の 2 泊 3 日で、平成 21 年度「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」を実施しました。

地域で男女共同参画を実現するためには、推進拠点となる男女共同参画センターなどの女性関連施設と、地域で活動する団体・グループとが連携・協働しながら事業を進めていくことが望まれています。そこで、本研修では、国立女性教育会館が実施した女性関連施設に関する調査研究の成果を活かし、女性関連施設管理職、団体リーダーのエンパワメントと連携・協働関係の構築を支援することを主な目的としました。

また、施策説明・講義などすべての立場の方に共有していただきたい内容は【共通プログラム】、組織の運営や具体的な事業のあり方など所属ごとの問題解決に関しては【コース別プログラム】とし、参加者の実態に即した内容を目指しました。

なお、「管理職コース」は、特定非営利活動法人全国女性会館協議会と共催で実施しました。

全国各地から、女性関連施設管理職、男女共同参画行政担当者や団体・グループリーダーなど、地域で男女共同参画を推進する核となる立場の方々、北は北海道、南は沖縄県まで 100 名あまりのご参加をいただき、密度の濃い研修を行いました。

参加者の皆様からは、「全体的にたいへん充実した内容であり、大きな気づきがあった。」「男女共同参画推進の全国的な状況、理解を得ることができ、その解決策のヒントを得ることができた。」「新しい出会いがあり、仲間作りができた。」という声をいただきました。



講義「男女共同参画社会に向けた今日の政策課題」の様子

「実践・活動に結びつく学習（アクション・ラーニング）」プログラムの開発

国立女性教育会館では、男女共同参画を推進する上で大きな役割を果たしている女性関連施設の現状と課題を把握するための調査研究を行っています。平成 20 年度には、平成 18 年度～ 20 年度の 3 年間の調査研究のまとめとして、女性関連施設、女性団体・グループ、行政が連携・協働して、地域づくりに参画する人材を育成する「実践・活動に結びつく学習（アクション・ラーニング）」プログラムを開発しました。

女性関連施設を含む公的施設は、運営主体の多様化、経費節減と運営効率化の中で、事業の充実、施設の存在意義の明確化が求められています。特に、人と人をつなぐ拠点、人と情報をつなぐ拠点としての役割を充実していくこと、そして「連携・協働の推進」及び施設職員、団体・グループのエンパワーメントも含めた「人材育成」が重要です。これまで、女性関連施設と女性団体・グループ、女性関連施設と男女共同参画行政という二者間の連携・協働は多くなされてきましたが、本プログラムでは、女性関連施設、女性団体・グループ、行政の三者が連携・協働し、地域づくりに参画する人材を育成することを目的に様々なワークショップを用いていることが特長といえます。

また、女性の活動を社会的視点からとらえ直すために、新たに「社会活動キャリア」という概念を取り入れました。「社会活動キャリア」とは、企業等における職業キャリアと同様に、NPO やボランティアでの活動等もキャリアとしてとらえる考え方です。女性の地域づくりにつながる多様な活動を社会的に評価することが可能となり、人材育成の促進を図るための考え方です。

さらに、本プログラムは、実践力の向上につながるようなプログラム展開となっています。具体的には、①男女共同参画推進の視点、②統計データの分析、③地域における男女共同参画に関する問題の整理と課題化、④地域づくりに参画する人材育成上の課題、⑤女性の社会活動キャリア事例の分析、⑥課題解決に向けた実践へのつながりという各項目について、ワークショップを織り込み、グループ討議を行い学びます。

静岡県及び千葉県の協力を得て、女性関連施設、女性団体・グループ、行政の三者が参加し、本プログラムを実験的に実施しました。参加者からは、「『社会活動キャリア』という概念が地域の人材育成において、生活圏における諸問題と女性たちの取組を振り返り再評価するという意味で有効なものである」、「参加者が課題を共有することで今後の連携・協働のきっかけづくりになった」等の意見があり、一定の成果を上げることができたといえるでしょう。三者が同じ時間を共有し、対等な関係の中で連携・協働しながら学ぶ過程で、互いのネットワークが構築され、地域づくりのための実践や活動につながっていく可能性が高まることが分かりました。

本プログラムは、消費者教育や環境教育など、地域の課題にそって多様に応用が考えられます。学習を活動に結びつける「アクション・ラーニング」の推進によって、全国の女性関連施設が男女共同参画の拠点として、それぞれの地域の課題を解決するための活動を活発化し、地域の活性化につながることを期待します。



▲ 静岡県におけるプログラムの実験実施の様子

トピックス

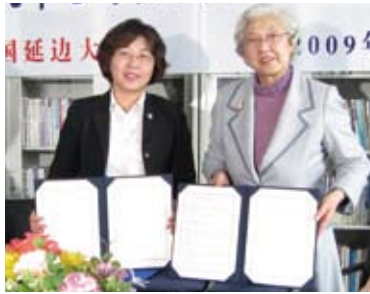
中国延辺大学女性研究センターと交流・協力協定を締結しました

平成21年5月12日に、中国延辺大学女性研究センター（金花善所長）と交流・協力協定を締結しました。

協定締結式は、中国吉林省延吉市にある延辺大学にて行われ、金所長の協定締結を歓迎する旨の挨拶に続いて、神田理事長から相互の交流・協力による両機関の一層の発展を祈念する旨の挨拶があり、協定書へ署名が行われました。

その後、延辺大学内教室にて、神田理事長が特別講義「日本女子教育普及の経験と現在の課題」を行いました。講義には多くの学生が参加し、聴講した学生から、日本の女子教育の現状や、日本と中国共通の課題について、理事長へ多数の質問、意見が寄せられました。

両機関は、協定締結を契機として、今後、男女共同参画関連の教育、比較・共同研究、情報交換等の事業交流及び人的交流をさらに深めるほか、国際会議・セミナー等の開催について協力を行っていくことにしています。



▲ 協定書に署名する神田理事長(右)と金所長(左)



▲ 神田理事長による特別講義の様相

言葉の基礎知識

社会活動キャリア

キャリア(Career)とは狭義には、個人が職業上にとどっていく経歴、広義には生涯を通じた社会的役割に関する経験の連続を意味します(D.Hall 2002)。狭義、広義ともに共通しているのは、個人の生き方や経歴など個人的側面からとらえるという点です。

これまでは狭義の職業上の経歴、いわゆる「職業キャリア」が一般的でした。それに対して広義のキャリアとして、社会活動経験に光をあてたのが「社会活動キャリア」です。この言葉(概念)は国立女性教育会館がこれまでに行ってきたキャリア研究、平成20年度に行った地域づくり人材育成のための学習プログラム開発研究のなかで創り上げたものです。

地域の活性化、地域づくりが課題であり、そのための人材の育成が不可欠です。この点からみると、実際に地域で、子育てやPTA活動等の教育をめぐる活動、男女共同参画を推進する活動、食品の安全性への取組みといった消費者活動、ゴミやリサイクル等の環境問題、観光などを通じたまちづくりの活動等、生活に密着した問題・課題意識にたって活動している女性が多くみられます。ところが、こうした活動経歴をキャリアとしてとらえることは少なかったのがこれまででした。狭義のキャリアのとらえ方(概念)が広がっていたために、キャリアという「職業キャリア」と同義にさえなっていました。しかし、こうした地域活動は地域をつくる経験の連続であり、経歴つまりキャリアとしてとらえることができます。

これを私たちは「社会活動キャリア」としたのです。キャリアは先に述べた通り、個人的側面からのとらえ方です。そこでどのようにして形成され、人間としての発達に、あるいは個人の生活、家庭生活にどのように影響したのかなどを、明らかにする必要があります。同様に「社会活動キャリア」は地域づくりという点で社会的人材という社会的側面からもみることができます。「社会活動キャリア」は個人的見方なのですが、その裏側は社会的人材育成のプロセスということにもなります。

私たちは「人材育成」が個人の生き方と分離してしまっていることを問題としてきました。人材と個人の生き方とを結びつけつけることができる概念が「社会活動キャリア」なのです。

「社会活動キャリア」は、地域社会で展開されてきた上記のような活動の意義と、活動における個人としての女性の経験の蓄積を見直す考えです。「社会活動キャリア」を多くの人に実践的に理解してもらいたいと考え、活動のプロセス、困難の乗り越え方等の分析視点を盛り込んだワークシートを使った分析方法も開発しました。まだ研究途上の概念ですが、国立女性教育会館では、地域課題の解決につながる実践活動の担い手である女性たちの姿を「社会活動キャリア」として明らかにしていきたいと考えています。

調査研究・事業報告・資料の作成

国立女性教育会館研究ジャーナル第13号刊行



『国立女性教育会館研究ジャーナル』第13号を刊行しました。今号の特集は「女性のキャリア形成支援」です。

女性のキャリア形成に関する研究をされている武石恵美子氏、渡辺三枝子氏の論文と、女性関連施設で実際に女性を支援するプログラムを行っている榎村久子氏、新井浩子氏に実践事例研究をご寄稿いただきました。

また、これまでの投稿論文掲載者のキャリア形成に関するフォローアップ調査を行い、その結果報告を掲載しています。

なお、研究ジャーナルは1冊1,000円（送料別）で実費頒布しています。詳細は研究国際室研究ジャーナル担当（電話0493-62-6479 Eメールrese@nwec.jp）までお問い合わせください。

男女共同参画統計データブック—日本の女性と男性—2009



『男女共同参画統計データブック—日本の女性と男性—2009』（独立行政法人国立女性教育会館／伊藤陽一編、株式会社ぎょうせい発行、2,500円）を2009年3月末に刊行しました。

本書では、社会生活を(1)人口(2)家族と世帯(3)労働力と就業(4)労働条件(5)生活時間と無償労働(6)家計と資産(7)教育と学習(8)社会保障と社会福祉(9)健康と保健(10)安全、犯罪と暴力(11)意思決定(12)意識調査の12項目に分け、女性の現状について各種統計データを分析し、豊富な図表をもとに、わかりやすく解説しています。

社会統計の専門家が中心となって執筆しているため、初版の2003年版から「客観的な男女共同参画情報を得ることができる」として、高く評価されてきました。2009年版では、最新データを提供し、より現場のニーズに応えられるよう、用語解説や男女共同参画政策と関連統計事項などの附録資料や、都道府県別データの充実を図り、掲載しています。

男女共同参画社会形成を進めるためには、データに基づいた現状を把握することが不可欠です。是非「男女共同参画統計データブック」をご活用ください。

問合せ先：研究国際室 TEL：0493-62-6479

購入申込：(株)ぎょうせい TEL：0120-953-431

HP：<http://www.gyosei.co.jp/home/top/>

情報ネットワーク

「文献情報データベース」リニューアル、 「新着資料アラート(お知らせ)サービス」を開始しました



男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館「女性教育情報センター」所蔵資料が検索できる「文献情報データベース」をリニューアルし、検索結果のメール送信、所蔵がなかった場合、検索エンジンや他のデータベースをボタン一つで検索できる等、新しい機能を追加しました。

また、新着資料をEメールでお知らせする「新着資料アラートサービス」を開始しました。「アラートサービス」は、「子育て支援」や「少子化」といった関心のあるキーワードや著者などをあらかじめ登録しておき、その条件にあった新着資料（図書、地方行政資料、和雑誌記事、新聞記事等）をお知らせするサービスです。

Eメールアドレスを登録していただき、例えば登録語「〇〇新聞」、資料区分「新聞記事」、毎日配信で登録すると、その日に登録された新聞記事の見出し、日付、新聞名などが届きます。記事を手入力したい場合は、文献複写サービスをご利用ください（1枚35円と送料がかかります）。ご登録お待ちしております。

<http://winet.nwec.jp/bunken/>

女性アーカイブ

女性アーカイブセンター所蔵展示をリニューアルしました

本館1階女性アーカイブセンター展示室では、女性アーカイブセンター所蔵資料を展示しています。6月18日(木)より、この展示をリニューアルいたしました。

今回の展示では、家庭科教育の実践的研究者である和田典子氏(1915～2005)の旧蔵資料をはじめ、大正時代の産婆学教科書や、昭和初期の英語の教科書など、昨年6月の女性アーカイブセンター開設から1年の間に寄贈された資料をご紹介します。

また、女性アーカイブセンターの主なコレクションである「奥むめおコレクション」からは、昭和初期に設立された「婦人セツルメント」や「働く婦人の家」に関する数々の写真を、「稲取婦人学級資料」からは、学習課題の一つ「ラジオフォーラム」に関する資料を展示しています。

展示室内には、お手に取ってご覧いただける複製資料も並んでいます。

展示室は休館日を除く毎日、9:00から17:00まで開室しております。入場無料です。どうぞご来場ください。



▲ 和田典子資料



▲ 昭和初期の英語の教科書、手書きノート



▲ 展示室の様子

ボランティアコーナー



プール監視員ボランティアを始めてから28年「誰かの役に立っている」という手ごたえを感じ生き生きとした毎日、NWE Cに研修で訪れる利用者の後押しボランティア、「男女共同参画社会の現実をめざした活動と学習は車の両輪」を胸に、活動を続けてきた。

平成19年にNWE CとともにNWE Cボランティア活動も30年を迎え、<ボランティア記念事業>という熱い想いが胸の中でどンドンふくらみ抑えきれなくなった。仲間呼びかけて、一泊二日の「ぼらんていあ雪月花全国交流フォーラム」開催とボランティア30年のあゆみ展示、公募展「NWE Cを撮ろう・描こう・詠おう」を企画した。準備に一年間かかった。会館の職員をはじめ、嵐山町の女性たち、遠くは北九州市からと全国から応援を得て、平成20年3月、NWE Cボランティアらしい内容の事業をやり遂げることができた。28年前には想像もつかなかった。継続は力なりを実感。もう一つ感激したことは、思いを同じくする仲間が10年ぶり20年ぶりに駆けつけてくれたこと。<出会いの館NWE C>ならではの産物。これから学習の場を創るボランティア活動を続けていきたい。ボランティア活動のもたらした、たとえようもない深い感動と喜びを支えられ、今日もロビーにお花を生けている。(NWE C ボランティア 宮本紀子)



お知らせ

展示コーナー

7～9月テーマ 『女子差別撤廃条約』採択から30年』

「女子差別撤廃条約」採択から30年、「男女共同参画社会基本法」制定から10年。女性の地位向上、男女共同参画社会実現への取り組みは進んでは来ていますが、まだまだ多くの課題があります。課題解決に向けた取り組みについて考える資料を、1階エントランスホールに展示中ですので、是非ご覧ください。

※展示資料例 『女性差別撤廃条約選択議定書活用ガイド：私たちの権利は“選択”の問題じゃない!』、『男女共同参画のために：政策提言』、『女性の人権とジェンダー：地球規模の視座に立って』

10～12月テーマ 『貧困と女性・子ども』

世界的な不況の中で、格差と貧困が問題となっています。女性の所得はもともと男性より低く、特に母子世帯の生活は非常に厳しさを増しています。女性・子どもの貧困について考える資料を展示します。

※展示資料例 『生活・女性問題をとらえる視点』、『格差と貧困がわかる20講』、『子どもの貧困：日本の不公平を考える』

※展示のリストはホームページに掲載しています。 <http://www.nwec.jp/jp/center/page05.html>



お知らせ

●ダイヤルイン化について

平成21年7月7日(火)から、ダイヤルイン化しました。下記担当へ直接お問い合わせください。

施設のご予約・ご利用に関すること	予約係	TEL.0493-62-6723 / FAX.0493-62-4399
施設ご利用の際のお食事に関すること	食堂事務室	TEL.0493-62-6494
国立女性教育会館の主催する事業に関すること ボランティアに関すること	事業課	TEL.0493-62-6725 / FAX.0493-62-6720
女性教育情報センターに関すること 女性アーカイブセンターに関すること	女性教育情報センター	TEL.0493-62-6195 / FAX.0493-62-6721
女性情報ポータル(Winet)・データベースに関すること	情報課	TEL.0493-62-6727 / FAX.0493-62-6721
国立女性教育会館の調査研究・出版物に関すること 国立女性教育会館が主催する国際フォーラムに関すること	研究国際室	TEL.0493-62-6479 / FAX.0493-62-9034
広報活動・報道機関対応等に関すること	総務課企画係	TEL.0493-62-6714 / FAX.0493-62-6722
施設設備に関すること	総務課施設担当	TEL.0493-62-6715 / FAX.0493-62-6722
財務会計事務に関すること 物品の調達(入札を含む)に関すること	総務課会計係	TEL.0493-62-6717 / FAX.0493-62-6722
インターネットホームページに関すること	コンピュータ室	TEL.0493-62-6716 / FAX.0493-62-6722
情報公開・人事・科学研究費補助金に関すること その他総務全般に関すること	総務課総務係	TEL.0493-62-6719 / FAX.0493-62-6722
夜間緊急の場合	警備室	TEL.0493-62-6924

なお、代表電話番号(0493-62-6711)は、周知期間(1年を予定)中、業務時間内は総務課にて対応します。業務時間外(平日 17:00~翌 8:30、及び土日祝日の終日)は音声ガイダンスにて対応します。周知期間終了後は、代表電話は音声ガイダンスのみの対応となります。

●利用案内

プール開設のお知らせ

今年も6月より屋内温水プールを開設しています。プールは、25メートルの6コース(最深 1.3m 最浅 1.1m)で、天候や紫外線を気にせずにお楽しみいただけます。

利用についての詳細は、予約係へお尋ねください。

期 間：平成21年6月20日(土)~9月13日(日)
(但し、8月28日(金)~8月30日(日)、9月7日(月)はお休みします。)

時 間：9:00~12:00、13:00~17:00

料 金：300円(1日)

*原則として中学生以上の方にご利用いただけます。(18歳未満は保護者・教員などの引率が必要です。)

*都合により開設しないこともありますので、事前にお問い合わせください。

【施設利用に関するお問い合わせ】

予約係 TEL:0493-62-6723(受付時間:8:30~17:00)
FAX:0493-62-4399
ホームページ: <http://www.nwec.jp/>
E-mail: yoyaku@nwec.jp(予約専用)

休館日(平成21年8月~22年9月)

平成21年 8月の休館日はありません

9月 7日(月)
10月 5日(月)・19日(月)
11月 4日(水)・16日(月)
12月 7日(月)・21日(月)・
26日(土)~31日(木)

平成22年 1月 1日(金)~4日(月)・18日(月)

2月 1日(月)・15日(月)
3月 1日(月)・15日(月)
4月の休館日はありません
5月 10日(月)・17日(月)
6月 7日(月)・21日(月)
7月 5日(月)
8月の休館日はありません
9月 6日(月)

●寄附金等受け入れの報告

団体や個人の方々から寄附金をいただきました。(敬称略・順不同)

団体 プロジェクトパッチワーク

個人 宮下順子、上田孝、荻村しをり、長谷川輝美

●寄附金のお願い

又エックではより充実した業務遂行のための経費に充てるため、寄附金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の暖かいお篤志を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

●寄附金に対する問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

●話題になりました

会館に関する事がマスコミ等に取り上げられたものを紹介します(4月~6月)

- 日経ビジネスアソシエ 5/19(火) 理事長インタビュー
- 日本経済新聞(埼玉版) 5/21(木) 「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」の参加者募集
- フジサンケイビジネスアイ 5/25(月) 「女子中高生夏の学校2009」の参加者募集
- 読売新聞 6/10(水) 「女子中高生夏の学校2009」の参加者募集
- 日本経済新聞 6/11(木) 「女子中高生夏の学校2009」の紹介
- 読売新聞 6/23(木) コラム中で、「女子中高生夏の学校」について言及

編 集 後 記

- 今年度から年2回の発行に変更になりました。各号充実した内容にしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- 休館日を除く9月13日(日)まで「埼玉県ものづくりスタンプラリー2009」に参加しています。是非ご来館ください。また、10月30日(金)~11月3日(祝)までさいたまスーパーアリーナで開催される「まなびピア埼玉2009」の見本市にも参加予定です。会館ならではの展示等行いますので是非ご来場ください。
- 空の青さが夏らしく輝きを増してきました。熱中症など皆様もお体に十分お気をつけください。

又エックニュース第125号

平成21年7月27日発行

編集発行 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

(事業課)TEL.0493-62-6725 FAX.0493-62-6720

(情報課)TEL.0493-62-6727 FAX.0493-62-6721

(研究国際室)TEL.0493-62-6479 FAX.0493-62-9034

(総務課)TEL.0493-62-6719 FAX.0493-62-6722

ホームページURL <http://www.nwec.jp/>

E-mail webmaster@nwec.jp

この紙は再生紙を利用しています。